

## 2010 年度排出量の推計方法(エネルギー起源 CO2 以外のガス)

日本国温室効果ガスインベントリで採用している算定区分及び算定方法を用いて 2010 年度の排出量を推計（原則として、分野別・ガス種別に（2010 年度の排出係数）×（2010 年度の活動量）により算出）。

### ○ 2010 年度の排出係数

原則として、日本国温室効果ガスインベントリで使用されている 2005 年度の値を使用（<http://www-gio.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html>）。

### ○ 2010 年度の活動量

分野ごとに推計（下記参照）。

#### 【燃料の燃焼分野】

エネルギー起源 CO2 の推計で用いた活動量を用いている。

#### 【燃料の漏出分野・工業プロセス分野（代替フロン等 3 ガス以外）・有機溶剤及びその他の製品分野】

主として社会経済活動量の見通しを踏まえて推計しているが、想定値のないものや社会経済活動量に連動しないものについては過去のトレンド等から推計。

#### 【工業プロセス分野（代替フロン等 3 ガス）】

主として社会経済活動量の見通しを踏まえて推計。また、各業界団体が策定している自主行動計画の目標の達成を前提としている。

#### 【農業分野】

「食料・農業・農村基本計画」に 2015 年度の目標値が示されている家畜・作物種等については、2005 年度の値と 2015 年度の目標値の内挿によりその間の値を推計。それ以外の家畜・作物種等は、過去のトレンドの外挿等により推計。

#### 【廃棄物分野】

「廃棄物処理法に基づく廃棄物減量化目標」及び「循環型社会形成推進基本計画」等の推進を前提とし、一般廃棄物は人口、産業廃棄物は業界に関する指標（素材生産量、鉱工業生産指数、業界生産見通し等）を加味して推計。

## 温室効果ガス排出量(エネルギー起源 CO2 以外のガス)

○ 実績

分野	京都議定書の基準年度				2005年度			
	CO2	CH4	N2O	HFCs PFCs SF6	CO2	CH4	N2O	HFCs PFCs SF6
総排出量	85	33	33	51	91	24	25	17
エネルギー	0	4	7		0	1	8	
燃料の燃焼		1	7			1	8	
産業部門		0	2			0	3	
民生(業務その他部門)		0	0			0	0	
民生(家庭部門)		0	0			0	0	
運輸部門		0	4			0	3	
エネルギー転換部門		0	1			0	1	
燃料の漏出	0	3	0		0	0	0	
工業プロセス	62	0	8	51	54	0	1	17
有機溶剤及びその他の製品			0				0	
農業		18	14			15	12	
廃棄物	23	11	3		37	7	4	

(単位: 百万t-CO2)

○ 2010年度推計結果

分野	対策上位ケース				対策下位ケース			
	CO2	CH4	N2O	HFCs PFCs SF6	CO2	CH4	N2O	HFCs PFCs SF6
総排出量	86	23	25	32	86	23	25	32
エネルギー	0	1	8		0	1	8	
燃料の燃焼		1	8			1	8	
産業部門		0	3			0	3	
民生(業務その他部門)		0	0			0	0	
民生(家庭部門)		0	0			0	0	
運輸部門		0	3			0	3	
エネルギー転換部門		0	1			0	1	
燃料の漏出	0	0	0		0	0	0	
工業プロセス	51	0	1	32	51	0	1	32
有機溶剤及びその他の製品			0				0	
農業		16	12			16	12	
廃棄物	35	6	3		35	6	3	

(単位: 百万t-CO2)

(注1) 分野は、日本国温室効果ガスインベントリで採用している算定区分に基づく。

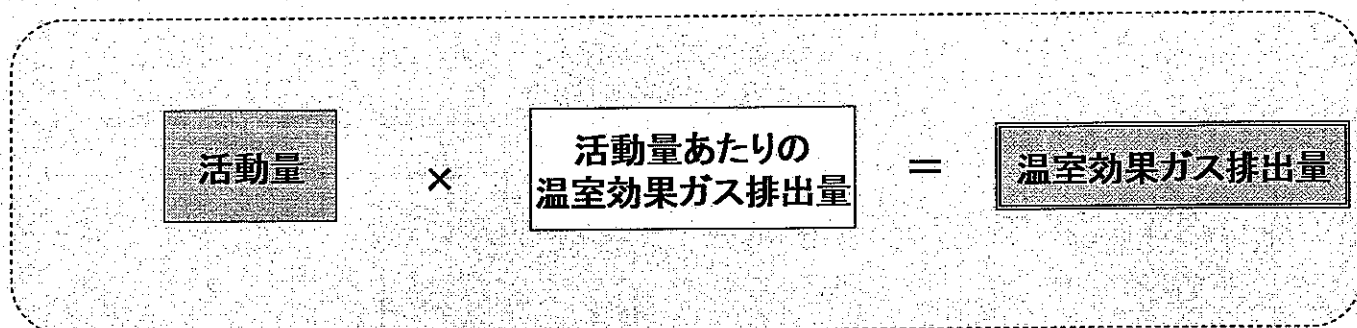
(注2) 網掛け部分は、当該分野における当該ガスの排出が想定されていない。

(注3) 四捨五入の都合上、各欄の合計は一致しない場合がある。

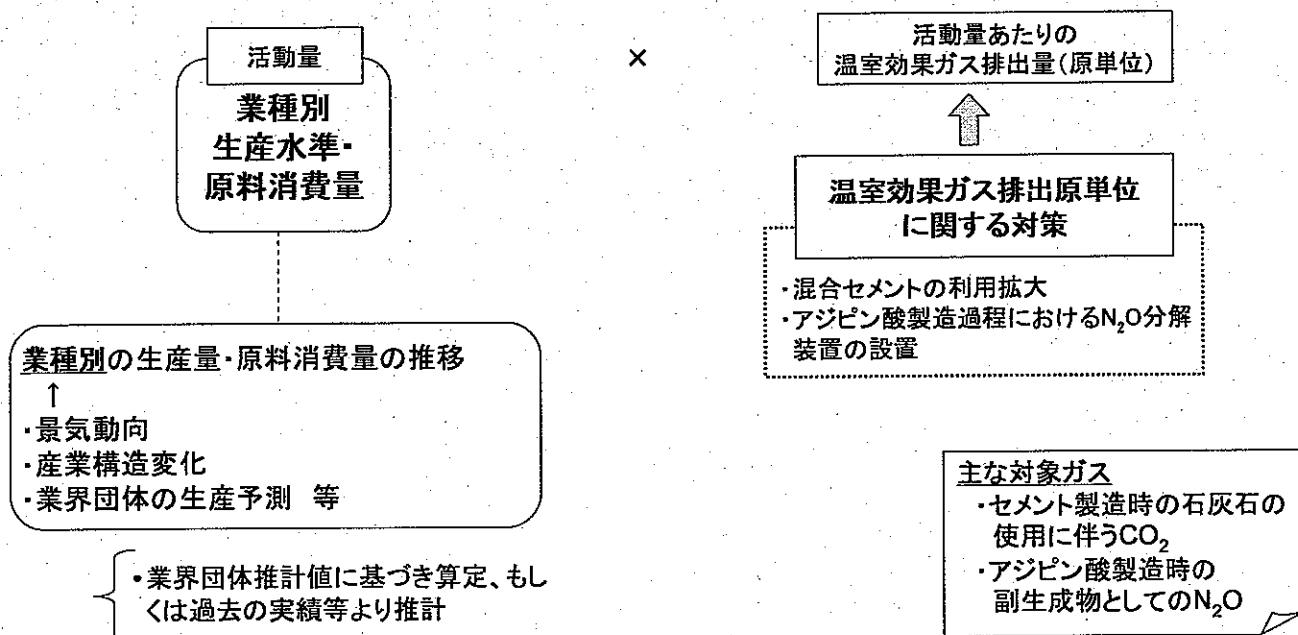
(注4) 代替フロン等3ガス分野については、暦年による。

# 温室効果ガス排出量の推計方法の概略

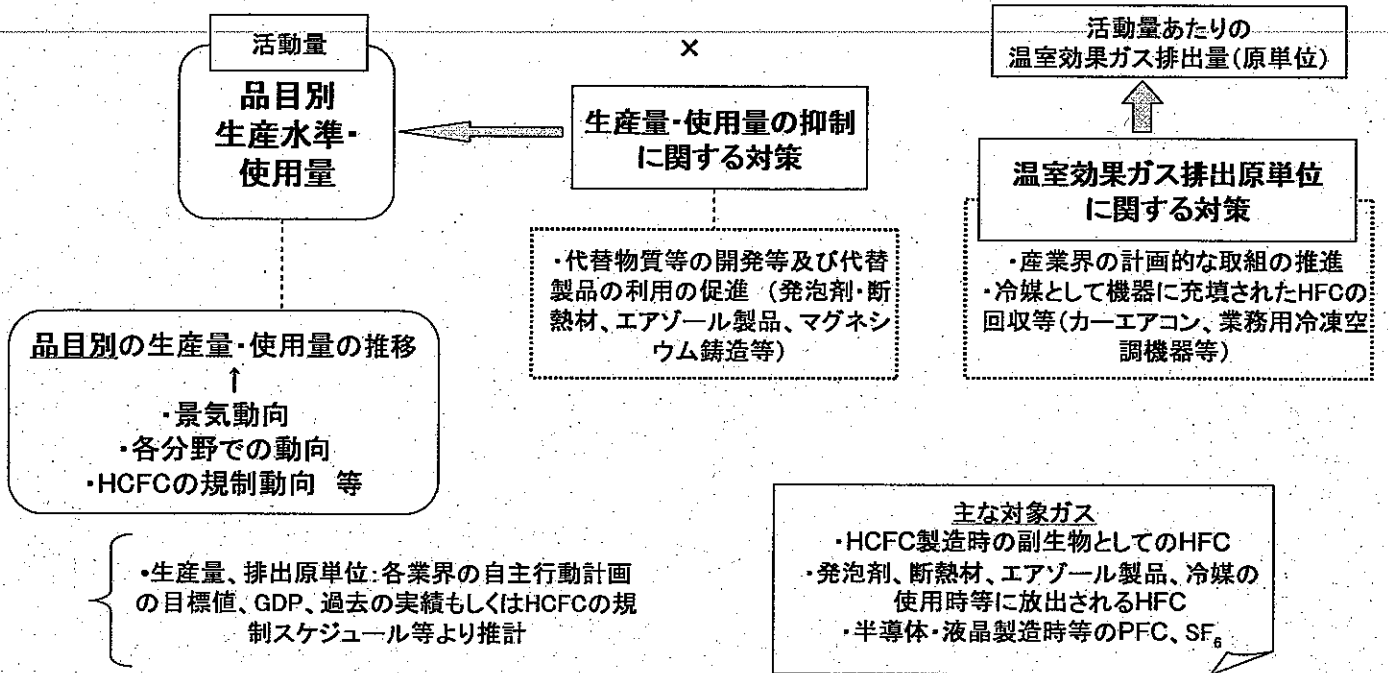
<エネルギー起源CO2以外の温室効果ガス排出量の算定式>



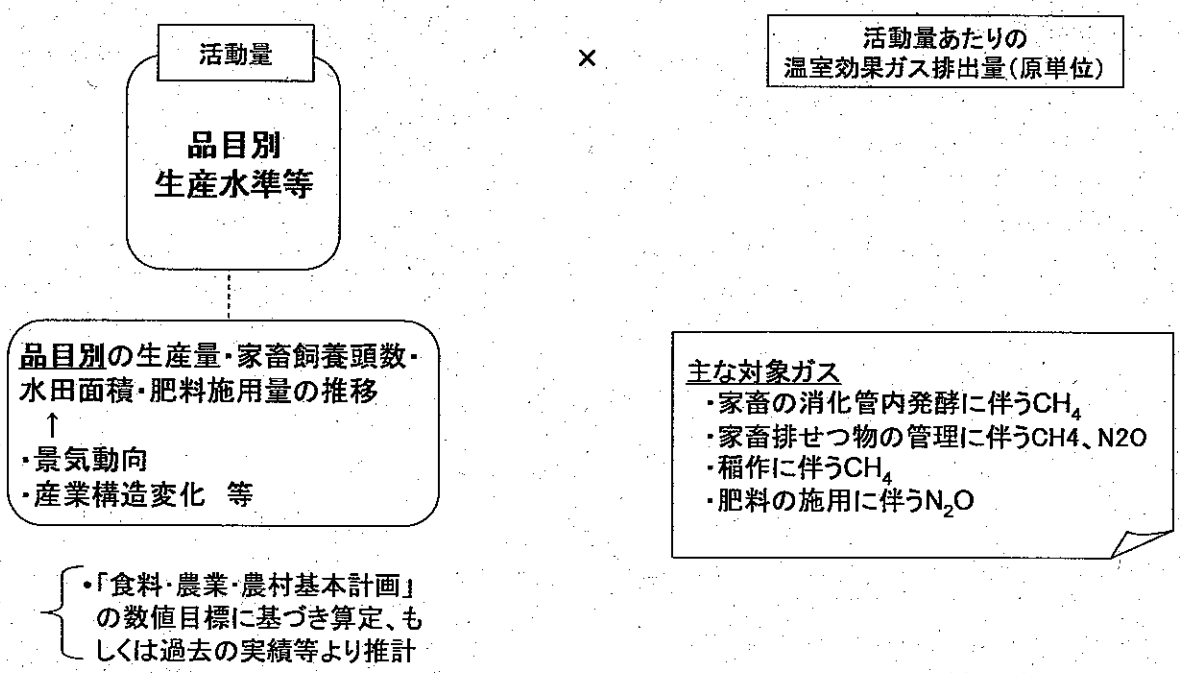
## 工業プロセス分野



# 代替フロン等3ガス分野



# 農業分野



# 廃棄物分野

